

M I O S U J I みおすし

第11号

発行 愛知県立三谷水産高等学校同窓会
〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町水神町通2-1
TEL.0533-69-2265 FAX.0533-67-7699

会長就任のご挨拶



同窓会長 山本 光男

さて、同窓生の皆様には地域、職場に於いて益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。同窓会も、一昨年は小田喜代春前会長を中心に、創立60周年の大事業が太平洋フェリーの同窓生諸兄の協力を得まして「いしかり」船上にて盛大に催され、在校生・PTA・職員の皆様と共に、全国の同窓生に水産建児の心意気をお知らせすることが出来ました。

会長就任と同時に、学校を取り巻く環境が大変厳しい事も痛感しております。特に「愛知丸」の代船問題が急浮上し、関係各所に御願いを致しているのですが、早期建造は大変厳しい状況にあります。しかしながら一歩一歩、歩を進めて参りたいと存じます。

21世紀を迎え、国際化・IT化・高齢化・少子化社会と私達を取り巻く社会は大きな転換期を迎えようとしています。社会構造や価値観も変化しており、水産教育そのものも更に真剣に取り組まなければならない時期が来ていることは確実です。常に全国の水産高校のリーダー役として、新しい

人づくり、学校づくりを意識し、次世代の水産高校として早い機会に変革・変貌してゆかなければなりません。同窓会としても、母校にどのような支援活動が展開できるか、皆様の英知を結集しなければならない正念場とも考えます。

さらに、同窓会総会には、歴代の同窓会長全員に御出席頂く企画も考えております。懐かしい同級生や恩師との再開を楽しみにして頂きたく存じます。

最後に同窓会のために数々の事業と指針をお与え下さいました、小田喜代春前会長に厚く御礼申し上げますと共に、会員諸兄の日頃のご支援に感謝し、限りないご活躍とご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

1月3日、同窓会総会と並行してクラス会を開いてみてはいかがでしょうか？
2次会は例年クラス会的な扱いとなります。
担当は杉浦丸乙まで 0533-69-2265

現在、日本は経済の衰退期を迎え、国も地方も個人もいずれをとってもマイナスの経済状況です。経済の衰退は精神文化の衰退を伴います。凶悪犯罪やテロは後を絶たず、自らの命を絶つ人も少なくはありません。

感謝・感謝・感謝

同窓会の皆様には、益々ご健康でご活躍のこととお喜び申し上げます。前会長の小田喜代春様には、7年有余にわたり会長をお務めいただき、本校発展のためにご尽力をいただきました。心から感謝を申し上げたいと思います。

今年の1月の総会において、山本光男様にバトンタッチされました。現在は、山本会長のもとに同窓生がさらに一致団結、一層の発展を目指して活動中であります。今後とも本校発展のために、また後輩の育成のためにご支援をいただきますことをお願い申し上げます。

さて、昨年は愛媛県立宇和島水産高等学校の実習船「えひめ丸」の沈没事故が起こり、水産高校に関係する皆様の胸を痛めました。本校の実習船「愛知丸」も、年2回のハワイ沖における遠洋乗船実習、1年生の沖縄に向けての沿岸乗船実習等、乗船実習に力を入れているところでございますが、平成2年3月30日竣工の時より数えて、文部科学省の定める耐用年数12年を超えて13年目に入っ

ております。すでに、学校としましても県当局に代船建造の早期実現を目指しまして要望しているところでありますが、現在の財政状況もあっていまだ実現しておりません。

今年のPTA総会において、「えひめ丸」の事故、「愛知丸」の老朽化に伴うトラブル等を心配して、「代船建造」促進を目指して同窓会と協力しながら要望活動を行うことが決議されました。山本会長を中心に、役員会で協議・検討され、PTAと協力して、愛知県知事・愛知県議会・愛知県水産議員連盟・愛知県漁連・愛知県教育委員会等、関係部署に精力的に陳情・要望活動を展開していただきました。いまだ建造開始について実現しておりませんが、皆様方のお力添えにより、新たな展開が開けることを期待しております。

私事になりますが、私も来年3月31日をもって定年退職いたします。教員としての10年間、校長としての3年間、通算で13年間三谷水産高校にお世話になりました。この間における同窓会の皆様の暖かいご指導

・ご鞭撻に心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

同窓会の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



校長 河合 英之